

キャリア教育だより 第8号

発行元：相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和6年2月発行

令和5年度相模原市キャリア教育推進委員会(令和6年1月24日)の様子

令和6年1月24日(水)に「令和5年度 第2回相模原市キャリア教育推進委員会」が開催されました。委員である青山学院大学の原教授、関係機関・各課の皆様のお話を伺いながら、本市のキャリア教育の更なる推進に向けて、協議を行いました。令和6年度、子どもたちどのようにキャリアの力を育てていくか、先生方のヒントになれば幸いです。

【「相模原市キャリア教育推進委員会」とは?】

市のキャリア教育の推進について協議し、施策の方向性や事業デザインの修正・改善を図る目的で開催されており、藤田教授や原教授などの学識委員・小中学校長を含む関係機関の外部委員・庁内委員の19名で構成されています。今年で5年目を迎え、年2回定期的の実施をしています。この推進委員会は傍聴が可能となっており、傍聴者として来られた先生方もおられました。



皆様の応援のおかげで、箱根駅伝で優勝することができた。学生たちには無限の力があると感じた。

今年は「負けてたまるか大作戦」だったが、実は二つの意味がある。

一つ目は、「ライバル校に負けるな」

二つ目は、「自分に負けるな」

体調が悪い選手もいたが、自分に負けない、自分に勝つことができれば、結果はどうあれ、それは負けではない。

「自己との闘いに勝つ」ということをぜひ子どもたちは大切にしてほしい。



青山学院大学 原教授
【オンラインにて参加】

筑波大学の藤田教授は残念ながら参加することはできませんでしたが、校長先生方やPTA、関係機関の皆様と様々な意見を出し合う有意義な時間となりました。

青山学院大学の原教授は、本市のキャリア教育推進のために「オンライン」でご参加をいただき、子どもたちに「乗り越える力」や「自律する力」を育てるためのヒントをいただきました。次年度も、学校の特色や先生方、子どもたちの思いを生かし、相模原市全体でキャリア教育をさらに推進できればと思います。